

自衛隊の訓練を体験して ～総合的な学習の時間を支援～



基本教練の様子



土嚢積みの様子2



土嚢積みの様子1

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、7月22日（水）陸上自衛隊武山駐屯地において、東部方面混成団第17教育大隊の支援を受け、大和商業高等専修学校（生徒13名、教員1名）の「総合的な学習の時間」を支援した。

当日は天候にも恵まれ、生徒は、初めて入る駐屯地の雰囲気と概要説明で、陸上自衛隊にはパラエティに富んだ職種があることを知り、驚きの表情をしていた。その後は、基本教練を受け、「気を付け」「休め」「敬礼」など初めて行う動作に戸惑いを見せつつも、繰り返すうちに見違える程にできるようになっていった。昼食は、隊員食堂で体験喫食し、「カレーがとてもおいしかった」と全員から好評であった。午後からは「土嚢積み」を体験した。ただ土を入れて積むのではなく袋に入れる土の量や積み方など細かく決まっており、慣れない作業と暑さで苦戦はしていたが、班長達の指導と生徒同士の協力もあって無事に作業を完了することができた。

厚木募集案内所は、「今回の体験を通じて自衛隊の一端を知ってもらうことができた。今後、こうした支援を通じて、自衛隊を知ってもらい募集に繋げ任務達成に邁進していく」としている。

富士総合火力演習見学ツアーを支援



天候に恵まれた東富士演習場



迫力満点の90式戦車の射撃風景



92式地雷原処理車の発射風景



10式戦車の装備品展示風景

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、8月18日（火）、東富士演習場で行われた富士総合火力演習において、横浜出張所自衛官募集相談員会主催の42名の「見学バスツアー」を支援した。

当日は悪天候との予報であったが、展示訓練中は曇りながらも一時晴れ間も覗くなど、穏やかな見学日和となり、見学者からは目で行われる迫力ある実射訓練に多くの驚きと歓喜の声が上がっていた。また、午後の装備品展示においては、多くの見学者が戦車や航空機を間近に見て、その威圧感と頼もしさに感動していた。帰途に着くバスの中では、参加者から「初めての体験で楽しかった」、「また、ぜひ来年も参加したい」など多くの声がかれた。

横浜出張所は、「今後も、協力団体とより一層連携し、多くの市民に自衛隊を身近に感じてもらう、防衛基盤の拡充を図りたい」としている。

大迫力！！陸自最大規模の演習を目の当りに



富士総合火力演習（予行）における演習中の様子

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、8月18日（火）、陸上自衛隊の真夏の恒例行事である富士総合火力演習（予行）に、自衛隊入隊入校予定者と受験予定者22名を引率した。

参加者は、演習場地域を見渡せる前面シート席から陸上自衛隊が誇る最新装備の火力や、練度の高い部隊行動を間近で目の当りにした。

演習前段の特科をはじめとする火炮の精確な射撃を見学した参加者からは、「すごい、見えていないのになぜできるの」等の感嘆の声が上がり、演習後段の島嶼防衛に係る一連の状況からは、「自衛隊はこのような（日本を）守っているんだ」という安心感あふれる言葉が聞かれた。

厚木募集案内所は、「今後も、自衛隊の魅力を直接体験できる本演習を絶好の機会と捉え、募集の相乗効果に繋げていきたい」としている。